

2010年7月13日
株式会社 **山善**
(証券コード:8051)

**2010年度「グリーンボール・プロジェクト」に新サービス
国内クレジット制度活用サポート事業を開始**
～(株)スマートエナジーと提携し、環境機器による多様なCO2削減ソリューションを展開～

株式会社山善(代表者:吉居亨/本社:大阪市/以下、「当社」)では、2008年度より環境機器の普及促進のためのビジネス・スキーム「グリーンボール・プロジェクト(以下、「GBP」)」を行っておりますが、住宅版エコポイントや、改正省エネ法、改正温対法、東京都条例による排出規制および排出量取引制度の施行などを踏まえ、対象機器の追加登録や、今年度より国内クレジット制度の活用サポート事業を新サービスとして**7月20日**より開始いたします。

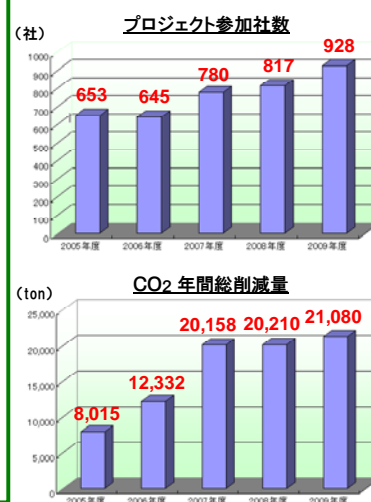
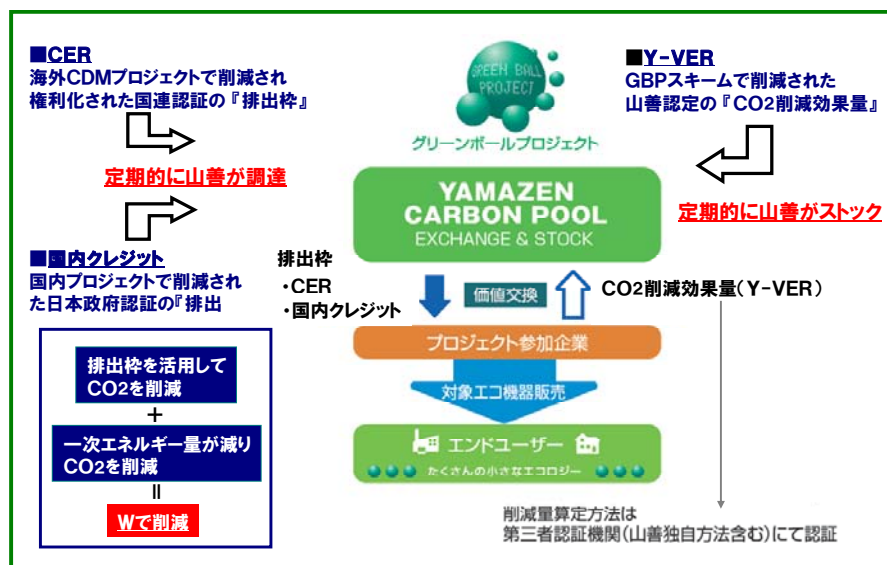


<http://www.greenball.jp/>

(1) GBPの概要

- 地球温暖化対策として効果が期待される太陽光発電やエコキュートなどの環境優良機器(以下、「エコ機器」)について、主に販売店や住宅会社への販促支援を通じ、工場や一般家庭への普及・拡大と、それによって生み出されるCO2削減効果(=Y-VER※注1)を、“見える化(=CER※注2と等価交換)”することによって、商売と環境の両立を目指すスキームです。
- 昨年度には**928社**の販売店の参加をいただき、これまでGBP2年間を通じて累計で**41,290トンのCO2削減効果**(※注3)を上げています。

⇒過去のリリースはコチラ



※ **注1**: Y-VER(Yamazen Verified Emission Reduction):この場合、第三者認証機関により評価された算定方法に基づき、当社が独自に認定したクレジット。

- ※ **注2**: CER(Certified Emission Reduction): CDMプロジェクトを通じて国連から発行されるクレジット。
- ※ **注3**: Y-VERでの実績。GBPでは、エコ機器の普及によるCO2の削減(Y-VER＝真水)をオフィシャルな実績としていますが、そのうちの一部を山善が別途調達した排出枠(CER)と等価交換としていますので、実質的には59, 593ト(＝Y-VER41, 290ト＋CER18, 303ト)の削減効果を上げています。

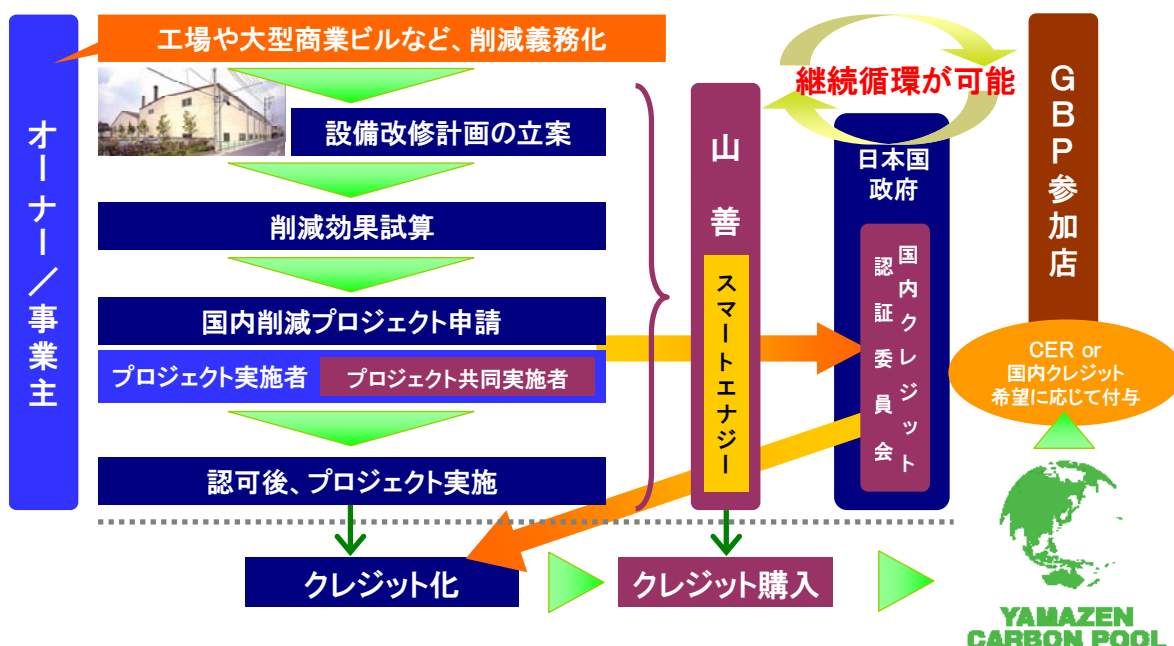
(2) 2010年度の取り組みについて

① GBP対象機器の追加

- 産業用分野では、改正省エネ法や改正温対法の施行を踏まえ、「ポンプ」などの工場内必需機器を中心に、電力消費を抑える12アイテムを追加しました。⇒[生産工場向けアイテム一覧はコチラ](#)
- 民生用分野では、住宅版エコポイント制度～特にエコリフォームをターゲットにした「断熱サッシ」を追加しました。⇒[一般家庭向けアイテム一覧はコチラ](#)

② 国内クレジット制度活用サポート事業を開始

- 大型空調工事や大規模太陽光発電設備の導入などをお考えのオーナーや事業主に対して、「国内クレジット制度(国内排出削減量認証制度)」を活用し、その削減事業がもたらすCO2削減効果の国内クレジット化を実現するため、[株式会社スマートエナジー\(代表者:大串卓矢/本社:東京都港区\)](#)と提携し、計画立案から効果試算、及び認証申請までをトータルでサポートする事業を開始します。⇒[国内クレジット制度での審査概要\(参考\)はコチラ](#)
- またプロジェクトの共同実施にも積極的に参画し、認証されたクレジットを購入して「YAMAZEN CARBON POOL」へストックすることで、従来のCERに加えて、エコ機器販売に付与する排出枠の一つとします。「YAMAZEN CARBON POOL」は今後、J-VERや東京都クレジット等の取得、保有も検討しており、各種排出枠を取扱う総合排出枠交換市場を目指し、各種排出枠を日本国内で広く活用する(＝削減を拡げる)機会を増やしていきます。



以上